

会 議 録

| | | | |
|--------------------|--|---|----|
| 会 議 名 (審議会等名) | 平成19年度 第3回 川西市社会教育委員の会 | | |
| 事 務 局 (担 当 課) | 生涯学習部 社会教育課 (内線 3421) | | |
| 開 催 日 時 | 平成19年6月27日(水) 10時00分～12時00分 | | |
| 開 催 場 所 | 川西市役所 2階 202会議室 | | |
| 出 者 | 委 員 | 生田議長、小柳副議長、敷地委員、後藤委員、佐道委員 武村委員、十河委員、池田委員、福島委員 計9名 | |
| | そ の 他 | | |
| | 事 務 局 | 中本生涯学習部長、玉邑生涯学習推進室長 後藤中央公民館長、小畑学校教育室長 松岡教育情報センター所長、山川社会教育課長 羽瀬地域教育課主査、神吉社会教育課主任 計8名 | |
| 傍聴の可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可 | 傍聴者数 | 0名 |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会 議 次 第 | 1. 報 告 (1) 阪神北地区社会教育委員協議会 総会について (2) 阪神地区公民館運営審議会 委員連絡協議会 定例総会について (3) 兵庫県公民館運営審議会 委員協議会 定例総会について (4) その他 2. 議 題 (1) 年間テーマ「よりよい地域教育システムづくり」 (2) サブテーマ「人につながる場づくり」 3. その他 | | |
| 会議結果 | 別紙のとおり | | |

審 議 経 過

No. 1

| | |
|------------|---|
| <p>議長</p> | <p>本論の議題の方に入らせていただきたいと思います。事務局の方からも、あるいは教育振興部の方もお見えになっておりますし、論議の中に加わって、アドバイスや指摘をいただけたらと思います。委員の皆様方も、活発なる意見交流をしていただきたいと思ひます。</p> <p>テーマ「よりよい地域教育システムづくり」、そして前回約2時間に亘りまして、いろいろな角度から考えながら、サブテーマとしまして「人でつながる場づくり」ということで、論議の柱づけというものができたかなと思ひます。阪神北地区のサブテーマ「大人の学び、人・場・輪づくり」と非常に似通っていると思ひますし、といひながら、まとめていくのも大変だろうと思ひますけれど、数少ない会議ですので、いい形で終わりには教育委員会の方に報告していけたらと、中身のある論議にしていきたいと思ひます。</p> <p>前回テーマが決まりましたので、どういふようにもっていきましょうか。各委員の皆様方がこいふ所に焦点を当てて、あるいは具現化の方向に向かつて、抽象論ではなく具体的な形で意見をそれぞれ発して、煮つめていけたらと思ひますので、自由に発言をお願いします。</p> <p>前回、A委員に学校教育現場の経験のもとで、いい提言をいただいておりますけれど、取りかかりとして、今考えていらっしやることを含めましてよろしくお願ひします。</p> |
| <p>A委員</p> | <p>校長になってから、つながりというのを非常に意識しています。</p> <p>今年、挨拶ということを前面に取り上げて、取り組もうとしているところでは。挨拶ができる子どもということもそうなんですけれど、これに取り組むことによつて共通の目標、それにどう取り組むかといふようなことで、ひとつのつながりができないかなと考えています。そいふ気運ができてきますと、また他のこともそれをうまく使つてできるかなと思ひます。</p> |

| | |
|------|---|
| A 委員 | <p>例えば、3年生が今年度から里山体験学習というようなものをします。要望の中には、年3回実際に里山に出かけて体験するというのが入ってきました、自然体験という目標はあるが、つながりという視点から見たらどうか。</p> <p>学習場所としてどうかと現地を視察して、現地はマムシがいる、ハチがいるといった危険な箇所があります。私のところにはウチババといって日生のちょっと下の所に、何人かの方が炭焼きとかをされているような場所がありまして、その場所を見つけてきて、その方にもご指導いただく。そして危険があるということで、どんどん保護者に訴えて、もしお手伝いしていただけるなら是非お願いしますと言いましたところ、昨日第1回目でしたが、保護者が15人来られたということで、よかったなと思っています。職員に聞いたところ、お母さん方は自分のお子さんだけ見ておられてたということで、もうちょっと広い目で見ていただければどうだと言ったのですが、来てもらうきっかけというのは、やはり自分の子どもがどんなことをするのかということで、来てもらったらいいと思います。そこから保護者を引き出してくるというのも大事です。</p> <p>私の地域のコミュニティーが、議長もちょっと関わって行ってもらえたかもしれないですが、一庫公園で自然観察の会を催される。その辺ともつながりをつけれないかなということで、3年の担任の教師全員行ってくれ、私も行くということにしてたら、保護者に呼びかけていたようで、昨日、評議委員会でコミュニティーの方が「60人ほど集まりました。先生が来てくれたら保護者も子どももたくさん来てくれます。」と言われていました。それまでは低調気味で、なぜもうちょっと学校も協力してくれないのかという声が上がっていました。学校は学校の都合があるのですが、何かをきっかけにそういう視点を持っていたら、そういう目で広げられる。つながり方の関係もあると思います。どういうことにつながっているのか。</p> <p>まだ明確には思っていないのですが、例えば里山へ行ったときに自</p> |
|------|---|

| | |
|-------------|--|
| <p>A 委員</p> | <p>分の子だけではなく、他の子にも目が届くような視野を持って欲しいと思いますけども、あまりそういうことを言いますと偉そうにと思われるかもしれないので、口には出して言いませんが、そういう風な目を持っていただきたいという期待はあります。</p> |
| <p>議長</p> | <p>ありがとうございました。具体的な例で、学校の立場からいろいろな問題点や現状、素晴らしい実践報告等がございました。実は私もちょっと関わっておりまして、今度の日曜日、コミュニティーが中心でされるようです。学校であったり地域のコミュニティーであったり、あるいはNPOも含めた地域でのいろいろな諸団体、それらがそれぞれの場面で活躍、あるいは行政の方だったら、例えば支援フィールドだったら、地域教育課の方でも講座を設けられたり、行政サイドでも仕掛けをされている。それぞれやっておられる場というのは結構あるような感じはするのですが。</p> |
| <p>B 委員</p> | <p>家庭とコミュニティーと学校と行政とそれぞれが大切で、市民が主役で何とかっていうのは、皆さん今まで何回も話されてわかっているのですが、阪神地区の講演の時の講師の方が29歳で若く、エネルギーがすごいのです。指定管理者制度で公募があって、いろいろな企業や団体の中で、わずか9人の平均年齢25歳のNPOの団体が選ばれているのです。その1年間、どういう風に公民館を運営してきたという熱意が、ビシビシと伝わってくるのだけど、話についていくのがやっとという感じで、すごいエネルギーだな、市長さんもよく冒険なされたなと感じました。</p> <p>やはり、いろいろな所をつなぐコーディネーターが必要だと、こういう若い方のエネルギーが必要でないかと思います。発想がすごいのです。事務所を全部取っ払ってしまったりとか、それは川西ではできないとしても。</p> <p>後でちょっと話をした時に、今、大学生でも社会の中で市民のた</p> |

| | |
|-------------|--|
| <p>B 委員</p> | <p>めに何かをしたいと思っている人は本当に多いのですよというお話をされているのです。だからそういう方たちを、何とか指定管理者制度でなくても、公民館活動とかコーディネーター役としてがんばっていただくにはどうしたらいいかというのが、一番の課題ではないかと思います。</p> |
| <p>議長</p> | <p>私も本を購入しましたが、全員20代なのです。市の職員で地域教育や企画をやっていらっしゃって。ただ 委員が言われたように、人件費ですね。将来、そこで勤めていらっしゃる20代の方が40歳、50歳になっていった時に報酬などどうするかといった課題的なことを報告されていました。</p> |
| <p>C 委員</p> | <p>そのNPO法人の方はどういう団体なのですか。自分たちで立ち上げられたのですか。それとも元々何かをなさった団体の方なのですか。</p> |
| <p>議長</p> | <p>米原公民館を指定管理制度を適用するということで、NPOで20代の人たちが立ち上げて指定されたのです。</p> |
| <p>C 委員</p> | <p>その公民館運営をするために立ち上げられたのですか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>シニアリーダー隊ということで、地域の青少年のボランティアでリーダーをされた方が集まってNPOを立ち上げられました。地域の子どもたちのボランティア活動をされていた時に、公民館を指定管理するというニュースを聞きつけて、NPO法人を立ち上げられて指定管理を受けられたという経過のようです。</p> |
| <p>副議長</p> | <p>資料に書いてあります。旧米原町の子ども会ジュニアリーダー。</p> |

審 議 経 過

No.5

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>すみません、ジュニアリーダーです。</p> |
| 議長 | <p>川西市でいいましたら子ども会、D委員もリーダーでやっていらっしゃるし、あるいは行政の方だったらリーダー隊なども所管されていますね。そういうところの若者たちが、公民館をひとつのたまり場、場づくりですね、という形で活発な活動をされていらっしゃる。</p> |
| B委員 | <p>そういう若いエネルギーが、いろいろな所をつなぎ合わせるコーディネーター役に、どういう風な形にしたらなっていたらいいのかと思うのです。</p> |
| 副議長 | <p>最近聞いた話ですが、京都の方では非常に児童館活動が盛んで、インターネットなどで調べましても、百万都市ですから多いのも当然なのですが、50も60もかなりあるようです。川西の公民館とか子育て広場を見ましたら、幼児期対象だけのところもありますが、京都では、中学生や高校生の場をつくっている児童館もたくさんありまして、そういう中では大学生なんかがそこでのリーダーとなって児童館の中で企画をして、いろいろなことをやっていっていらっしゃる。そして大学生は社会に出て、一旦活動から退きますけれど、高校生が大学生になったら、また次の世代を育てていくという形を作っているという例が京都ではあるようでして、その辺が若者を育てていくひとつの事例かなと思います。</p> <p>それともうひとつ、これはうちの法人のスタッフが聞いてきた話なのですが、そういう風に人にお世話になって育てられた体験をするとその子が大人になっても、社会貢献を何かの形でしなければいけないという気持ちになるそうです。単に時間的余裕がなかったら実際の活動ができなくても寄付活動するとか、そういう気持ちになったりするようです。上の世代に引っ張られて育てられていくということは大切なのだという話を聞いてまいりました。</p> |

| | |
|-----|---|
| 副議長 | <p>ひとつ提案ですが、このように毎月お話を続けていくわけなのですが、場というのはバーチャルの場もあるでしょうし、実際の集まりの場も両方ありますが、私たちもどこかに見学に行くのはどうかと考えています。川西市においても図書館、生涯学習センター、教育委員会の管轄でないのかもしれませんが、総合センター、児童館、老人児童センターなどそういう所で、どういう場づくりを実際されているのか、川西市の状況を見るのもひとつの手かなと思っています。話で皆さんから報告を聞くことは可能なのですが、その場を見て、その空間で感じるものはまた違うと思います。そういうのも一度やってみたらという提案です。</p> |
| 議長 | <p>提案もありましたが、それはまた論議をすることとしまして、D委員お願いします。</p> |
| D委員 | <p>A委員のお話を伺っている時に感じていたことは、校長先生が地域に開こうというお気持ちを表してくださったら、地域の人ってそこに寄っていくというか、何かしようという気持ちになるのだなと感じました。A委員の話と関連するかもしれませんが、先日、明峰高校で文化祭がありまして、その時に地域の方を招いての簡単なセミナーみたいなのがあるのですが、それを秋にしていたのを、子どもたちの活躍しているところも見ていただきたいからというので文化祭に同時にされたのですね。それで、そこに参加させてもらったのですが、地域の方が来られていて、吹奏楽部の演奏とかを中庭でするのですが、窓のところから小鳥がわぁーっと留まっているようにたくさん見ていて、それの中に地域の方がいらっしゃるというのが、とても感激だったのです。やはりそうやって学校から発信していただくと地域の方は出ていけるので、そういうつながりってありがたいし、大切だなと思いました。</p> <p>B委員のお話を聞いていた時に感じたことなのですが、子ども会</p> |

| | |
|------|--|
| D 委員 | <p>もリーダー、子どもスタッフというのを立ち上げています。最近何年かは役員がお膳立てして、子どもがお客さん状態だったのですが、先生にお世話になった頃に、40周年記念事業をしまして、その時に子どもスタッフというのを立ち上げて、子どもたちが中心になってやろうっていうのを始めたのです。それがもう6年くらいになるのですが、その子どもスタッフというのが定着してまいりまして、小学生で子ども会が終わるのですが、その時の子どもたちが高校生になっても今でも顔を出してくれたり、今度25日に球技大会をしますが、そこにも審判で参加してくれたりしているのです。そういうつながりっていうのが本当に大事で、その子たちが、きっと先々こういう若者になっていってくれるのではないかなとわくわくしました。</p> <p>総合体育館で7月25日、子ども会の球技大会（ドッジボール）がありますので、是非お越しく下さい。</p> |
| 議長 | <p>場というのは、いろいろな角度から仕掛けをしたり、コーディネーター役をしたり、時間はかかるのですが、特に子どもに関わるのところの部分というのは引き継がれていくものですから、一過性ではなく、形になって現れるものではないから評価は非常に難しく、そういう地道な部分というのは、大事なのはわかるのだけれど中々評価されないというか地味な仕事ですけれど、夢と希望のある仕事ということは、我々が新たに頑張っていけないといけない面があるのではないかと思います。</p> <p>E 委員いかがでしょうか。</p> |
| E 委員 | <p>先程挨拶の話がありましたが、自分の所は中学の中で一番挨拶ができるだろうと思っています。</p> <p>自分が他の地域に行ってすごいなと思ったことが2つあります。自分は歩くのが趣味で熊野古道を往復したことがあるのですが、その</p> |

| | |
|-------------|--|
| <p>E 委員</p> | <p>時に和歌山県の山の中の学校で、小中学校が一緒のところなのですが、こちらの方では、世の中は不審者が溢れているから知らない人と挨拶してはいけないとか、しゃべったらいけないとか、そういう指導をしようかなという時だったんですが、ブランコで遊んでいる中学生ぐらいの女の子がいて、その横の熊野古道を歩いていて、こちらではまず挨拶って絶対考えられないですよ。でも、その子はちゃんと挨拶してくれるのです。あの時はものすごく新鮮でした。それで往復したので帰りもまた通ったら、違う子がまた同じように挨拶してくれたのです。一度電話してどういう教育、指導をしてられるのかなと聞こうかなと思ったことがあります。</p> <p>それと、琵琶湖の周りも歩いたことがあるのですが、ある町で就学前の子どもと出会ったのですが、挨拶してくれる。今度は高校生ぐらいの子と出会ったらまた挨拶してくれる。歩いていたらそういう標語が掲げてあるのです。</p> <p>挨拶というのは、朝礼でも子どもたちに話をしているのですが、挨拶は心と心のメッセージとか挨拶は心と心をつなぐものとか、そのような標語を言いながら話すのですが、実際そうだと思うのです。そういうことができにくい状況というのが、しんどいところかなというのはありますが。</p> <p>そういう2つの地域は、本当にどういう町づくりをされているのかなと非常に興味があります。</p> |
| <p>B 委員</p> | <p>公共の場でなくてもデパートやスーパーなどでも「おはようございます」とおっしゃるけれど、商売人の挨拶で、こちらが挨拶を返すとびっくりされるのです。川西にある企業などでも皆で互いに挨拶をしましょうとPRして行って、スーパーなどでも挨拶が飛び交うような、一方的ではなく、お客さんとも自然にしあえる雰囲気を作って行って、そうして子どもがそういう雰囲気に慣れていくというか。学校も大事だけれど、たくさの年齢層が集まる所を挨拶</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>B 委員</p> | <p>の場とすると広まるのではないでしょうか。</p> |
| <p>議長</p> | <p>そうでしょうね。行政から挨拶しなさいと看板などではできると思いますが、我々も含めて民間サイドからも、声を出していかないといけないと思います。学校教育のひとつの大きな核となってくるのかなという感じはするのですけれど。</p> <p>F 委員いかがでしょうか。</p> |
| <p>F 委員</p> | <p>「よりよい地域教育システムづくり」ということで、ずっときていて、最終的に「場」のところまでできていると思いますが、その中でコーディネーターというのは絶対大切で、場も必要ですが、コーディネーターを、リタイヤされる方々にやっていただくとか、若い方々にやっていただくとか、その核となる人たちが内容を理解しないとできないというところがあります。それで公民館でまず説明会とか行って、そういうところからまず場を作っていく。そういうようなところからスタートするのもいいし、またコミュニティー推進協議会、活発に動けていない地域もあると思いますが、そういった所を場として動かして行って、その中では多分組織立ったことはもうできていると思いますので、その中で一度考えてもらう。いろいろな部がありますよね、私は文化部かなと思っているのですが、文化部のところ、地域の場ということに関して考えてもらったりする推進委員会でもいいと思うのです、そういったものを考えていただいて進めていく。その時には行政の方からコーディネートの説明に来ていただいたり、私どもが行ってもいいのですが、そういったところをスタートの場みたいな形で取り組むというイメージがあります。</p> |
| <p>議長</p> | <p>C 委員お願いします。</p> |

| | |
|------|---|
| C 委員 | <p>先程、NPO法人の若者のエネルギーを感じたということをお聞きしていて思い出したのが、知っている大学生の子が、市のやっていることに興味があるっていう話になって、「市の広報にそういうものが載っていたよ。」言うと、「えっ、そんなのがあるの。」とっていました。6月15日号かに、川西市の将来について話をしませんかという募集の記事が確かあったと思うのですが、若い子は広報はあまり見ないのかなと思ったのと同時に、大学生もそういうことに興味があって、こういう風にしたいなという思いはたくさん持っているのだなと感じました。</p> <p>大学生は大学生の方で思いはあるけれど、どういう風にそれを進めていったらいいかがわかってなくて、私たちこういう風に関わらせてもらっている大人側は、その人たちの見つけ方が中々わからない、うまくつながっていかないのが問題点と思っています。一本釣りでもいいので、その子をここに連れて来ようかなとお話を聞きながら思いました。その子たちに自分でもしてもいいよ、その応援を私たちはやっていきますよというメッセージを、どういう風に伝えればいいのか具体的にはわからないのですが、そういうものがあればいいなと思います。</p> |
| 議長 | <p>ひと通り発言していただきました。</p> <p>私としては公民館での活動の経験がございますので、あるいは学校現場の経験も踏まえて、行政サイドもちょっとかじったこともありますが、それぞれの場面で経験の範囲の中だったら、結構情報は個々にはあるような感じはするのです。副議長のようにNPO、皆さん方のように各団体のリーダー、公民館登録グループのリーダー、指導者としていろいろなデータや情報を持っている。それをいかに発信するかと同時に、コーディネーター役の大切さをものすごく感じているのです。例えば公民館でコーディネーター役、これは昨年も論議したところなのですが、公民館運営に関して要請の部分でコ</p> |

| | |
|------|--|
| 議長 | <p>ーディネーターに是非なってほしいと注文は出しているのですが。</p> <p>改めて情報発信の大切さを感じます。リーダー隊にしても子ども会にしてもボーイスカウト、ガールスカウトにしてもあるいは商工会の若い青年部の皆さん方やそういう若者たちが、いろいろなグループで、貢献をしようと仕事をされていらっしゃる部分をどうするかということなのですが。</p> <p>A 委員に聞きますけれど、学校や地域以外の、NPOや子ども会や企業関係の若者の、学校とあまり関係のない部分の動きや情報は入ってこないでしょうか。</p> |
| A 委員 | <p>積極的に活動される人は、子ども会の方から学校の方に、施設を貸してほしいとか、こういうことをするのだけれどとか、いろいろお話されるから、それはいいことですと、職員に休みに出て行きなさいとそこまで言いませんが、私として賛成し、そういうことを呼びかけたりといったことをします。</p> <p>自治会長、コミュニティーの会長、スポーツ21の方と学校長は絶対つながります。この前も話をしていたのですが、こういうつながりを学校は大事にしていますと言ったら、コミュニティーの方も「一緒です。地域のつながりです。」とおっしゃっていました。そういう点で共通点はあって、お互いが同じだなということがわかれば協力できると思うし、安全面なんかも確実に協力していかざるを得ないし、学校が積極的にならないと。ただ、NPOとかその他の団体とは直接つながるパイプがないです。</p> |
| 議長 | <p>非常に難しいところではあるのですが、校長さん方も委員になってますので、教育現場代表の方が各市とも社会教育委員になっていらっしゃる。やはりひとつの連携の部分の情報発信のものになっているのだなと思っているのです。</p> |

| | |
|------|--|
| A 委員 | <p>コーディネーターは、地域のいろいろな人とつながりがある人でないとできない。信頼のある人でないといけないと思います。</p> |
| B 委員 | <p>いろんな人とつながりのある方、ある程度尊敬されている方となると、動きが決まってしまう。かえって、若者みたいにいろいろな発想やいろいろなことが、できなくなるのではないのでしょうか。</p> |
| A 委員 | <p>コーディネーターは一人でなくていいと思います。各層から集まってきた人が会を開いて、いろいろな意見を出し合っていると思うのです。課題、悩んでいること、うまくいっていることなど。ただ、コーディネーターを探すのは非常に難しいと思います。</p> |
| B 委員 | <p>公民館と地域の人たち、学校と家庭、それぞれつながりがあるじゃないですか。今、公民館と学校がかなり接近してきて、いろいろなことを一緒にということが始まっていて、そのひとつが公民館の文化祭が、地域の学校や幼稚園を巻き込んで一緒にやって、お祭りとなってどんどん大きくなってそれでつながりが広がっている。そういう風な中で、先頭に立ってがんばっておられる方が、それぞれの所に行って講演をしてくださるっていう風に。</p> <p>川西北小学校でも文化祭みたいなのが年1回あるのです。公民館でも中央公民館の文化祭があるのです。でも、それはまったくバラバラなのです。中央公民館は市全体の公民館ということで中々難しいと思いますが、中央公民館が川西北小学校や川西北幼稚園を巻き込んで、清和台公民館のようにどんどん大きくなっていくといい。中央公民館がなると他の公民館にも波及していくわけです。中央公民館は話を持っていっても「学校や幼稚園とつながらないしな。」、学校の方も「中央公民館とつながらないしな。」とおっしゃるのです。川西北小学校でやっている文化祭もちょっとさみしいのです。中央公民館もさみしいのです。</p> |

審 議 経 過

No. 13

| | |
|------|---|
| 議長 | <p>やはり地域の特性があるので。</p> |
| B 委員 | <p>それは毎年言われるのです。中央公民館は市全体の公民館だからと。でも、北地域というのは中央公民館が地域の公民館なのです。やはり中央公民館と北の地域の住民が、もっと密接につながらないと、中央の公民館としての役目というのが・・・。</p> |
| 議長 | <p>私自身も中央地区におりましたので、経験があります。公民館の位置づけについて、地域住民の感情の部分と行政サイドの中央公民館に対する部分をうまく合わせて、川西小学校区や川西北小学校区や桜ヶ丘小学校区の地域をまとめていくといった、宿題はまだまだ残っているのではないかと思います。</p> <p>公民館に対する期待が多いがゆえに、中央公民館が中央にあるのにという部分の、地域の公民館として考えていかなければならない問題だと思います。</p> |
| B 委員 | <p>市の中央としての役目と、地域のための公民館としての役目もやはり果たしてほしいと思います。</p> |
| 議長 | <p>コーディネーター役がお互いに頑張ろうというところを、すべて行政に期待するのではなく、学校も巻き込んでいくということが大切かなと思います。リーダー次第だというような感じもするのです。学校は校長次第の影響というのはものすごく大きいということは、昨年度の教育委員との話の中でもそういう答えをいただいています。それにもなって情報発信の仕方、行政サイドから発信されているのだろうかというところが前回、論議をしたところです。</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>議長</p> | <p>北陵小学校はものすごく情報発信されているようで、今報告されたこともインターネットに載っていますね。コミュニティーと一緒にになってされたことを、学校から発信されていますね。すごいなという感じがしました。</p> <p>丁度、学校指導関係の方がいらっしゃるので、事務局の方で、地域の人たちと学校との関わりとの部分で、学校応援団のような組織といますか、市の方で募集されていますね。地域住民と学校との関わりを、行政サイドから仕掛けていらっしゃるような部分について現状はどうなのでしょう。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>学校支援ボランティアを公募し、名簿登録していただいて、中学校でいえば選択教科や、14年から小学校とともに始まった総合的な学習の時間等に地域の方にボランティアで来てもらう。いきいき学校ボランティア、そういう名称で県の方からの事業だったのですが、こちらで用意させていただくのは保険です。学校に名簿登録していただいて学校の方から声をかけさせていただくという形で、非常に多くの登録者数はあります。ただ、近年、登録したがぜんぜん声がかからないと言われます。といたしますのは14年で総合的な学習といわれれると同時に基礎、基本の学習ということで、もう一度、読み書きそろばん的な発想といたしますか、もっと授業実数をとられて、学校はどうしてもそちらに比重を置くようになり、そうになると、総合的な学習の時間に、ボランティアを入れて活動していただくとなると少し限定されるといった矛盾もあります。現状としてはいきいきボランティアの方では選択教科、総合的な学習、一部小学校から始まっている、小学校でいえば半数近くまで広まっていますが、読書ボランティア、そういう方々には保険に使わせていただいており、地域の方々にご協力いただいています。</p> |
| <p>C 委員</p> | <p>今のボランティアの話ですが、登録する時に、私はこれをしたい</p> |

| | |
|------|---|
| C 委員 | <p>ですという風に登録するのですか。それとも何か人手が必要な時に私は協力いたしますという感じのボランティアなのですか。</p> |
| 事務局 | <p>県がその事業を実施する前に、市独自で、旧教育課程の中で中学校における選択教科等がありまして、各学校においてボランティアを活用してというような取り組みで、市といたしますか各学校が中心となって、地域の皆さん方に学校便りを出してお返事をいただいています。その中には化学薬品の工場に勤めていたので理科のお手伝いができるとか、日本古来の楽器、琴だとかを教えることができるというような名簿をいただいております。それが県の方から新しい事業として入ってくる折に、かなり幅広くなって、お金も付くという段階です。市全体でもそういう名簿の登録をいただくといった、大量に呼びかけるようになっていきます。中にはわらじを作ることができるといった名簿登録もあります。</p> |
| C 委員 | <p>学校で交通安全でたくさんの方が協力されていますが、ああいうのも全部含めて、今そういう人手が足りないといった時のボランティアの登録もあるのですか。自分が専門的にできるものと、誰でも協力的なものでできることってありますよね。学校で人手がいる時に私は行ってもいいですよというものはあるのかということをお聞きしたいのですが。</p> |
| 事務局 | <p>個々の学校にご相談していただきましたらと思います。</p> |
| E 委員 | <p>私の学校でしたら、選択教科で琴をやろうかなと思って地域の方に紹介していただいたりとかがありました。今一番地域の方に協力してもらっているのは、特別支援学級のお手伝いで、安定感をもって行動できない子どもがいるので、普段は教員の方で、できるだけするのですが、お家の方も送迎に付けない場合は地域の方に相談し</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>E 委員</p> | <p>て2、3人のグループで来ていただいています。</p> <p>行政の方でこういう方がいらっしゃいますと情報をお願いしますし、また、学校独自で探したりもします。こちらが一番必要性を感じていることだから、直接身近なところでこういうことをお願いしたいのですと話した方が、お互いに協力関係ができるのではないかと思います。</p> |
| <p>C 委員</p> | <p>協力したいという方はたくさんいると思います。専門的なものだけではなく、私は何もできないけれど、お掃除ぐらいならできるとか、草を摘むぐらいならできるといような方、何かしたいけれど専門的なものは持っていないという方もいらっしゃると思うので、そういう風な項目があるのだったら、草抜き係とかあってもいいのかなと思います。</p> |
| <p>議長</p> | <p>人でつながる場づくりということで、学校教育の場面のひとつの事例、諸策をやっていらっしゃる。企画もある。社会教育、特に生涯学習ということを見ると、福祉との関係が出てくるのですね。</p> <p>今の現状で川西で公民館、学校、コミュニティー、諸団体、NPOと、現状がどうなっているのかという部分を、分析しなければならぬし、行政の方でもされていると思います。最初に情報がものすごくあると言いましたが、それがうまく活用されて、いきいきとなっているかというところのまとめ役、そこをどう発信し、どうまとめていくかというところが、大切ではないかと考えるのです。</p> <p>D委員がやっていらっしゃる子ども会のリーダーの話はものすごく大事で、高校生、大学生になってからもお手伝いに来る、子ども会の行事を自分が体験しているので。そのつながりが、例えば自分が育った子ども会であったり、学校であったり、公民館であったり、場をうまくもっと活性化させていく手法がないだろうかと考えます。</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>議長</p> | <p>私はコミュニティーにこだわるのです。差はあって、北地区の問題もあったのですが、地域に一番根づいているし、やはり地元の大人たちから見たら、コミュニティーが拠点になっていきそうな感じがするのです。</p> <p>文化部という例が出たのですが、前、委員さんがやめられた後に、川西コミュニティーでまたやっているのですねとご挨拶がありましたね。ああいう場面っていうのを窓口としてPRできないものかと思います。大切だなと思うのですが。</p> <p>事務局からお話があった部分にしても、公民館が抱えている問題と同じような感じがするのです。ものすごく情報を持っていらっしゃる。たぶん公民館長さん方も何か事業をやろうとする時、地域を一生懸命探してストックしている。各学校でも持っていらっしゃると思うのです。個人情報の問題もあるのだけれど、その辺をうまく学校、公民館、コミュニティーに還元し合うというシステムがね。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>今、私の方でいきいき学校応援団というボランティアをしていますというお話をさせていただきましたが、それはどちらかというと地域の皆さん方にお力をいただくというか、地域の皆さんから攻める形でしたが、子どもの伸びを考えた時に、待つ指導、ゆっくり見守るということ、例えば、最近よく子ども居場所づくりといわれるのですが、居場所というと地域の中で役割のあることかなと思っています。スペースをつくってやるのと少し違って。</p> <p>私の住んでいる地域で、昔、だんじりを出していた時期があって、昭和30年代、40年代初めぐらいまで村の中をだんじりが行き来して、その時には、大人、若い衆、子どもたちにきちんと役割があって、それを代々引き継ぐ。あなたは、次はだんじりの上に乗れるといった役なのです。それがあつたら、幼稚園ぐらいになったらあいつに上がるのだな、その次はこの役と。そこには待っている、役割を作っていた大人がいる。周りの人</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>事務局</p> | <p>がじっと見守ってくれて、子どもたちが活動できるような場づくりもできないかなと思っています。</p> |
| <p>B 委員</p> | <p>今おっしゃった場づくりって、公民館の文化祭につながりますよね。おみこしを担いでいる公民館もありますし、小学校の高学年になったら曳けるんだっていう。お祭りって小さい子からおじいちゃん、おばあちゃんまで集まれる場所だと思うのです。小学生が来ると、おじいちゃん、おばあちゃんも一緒に公民館に来るのですよ。コミュニティーと公民館が一緒になってやっている文化祭は、本当に賑やかなのです。年々、賑やかになっていってるのです。小学校の運動場いっぱい人が集まるぐらいに。別々の所は中々なのです。つながっていくというので、お祭りというのはすごいですね。</p> |
| <p>議長</p> | <p>E 委員の所は、手作りおみこしがありますよね。自治会、コミュニティーが中心になって、南部としての伝統のある形のお祭りになっているのですが、どうでしょうか。</p> |
| <p>E 委員</p> | <p>公民館とコミュニティーと、私の学校の吹奏楽部も参加しています。南部地域が一番地域とのつながりが強いと客観的に思います。ひとつの例としては、定着率が高い。何代にも亘って住んでいる。地域とのつながりが強い仕組みが結構あるなと感じます。</p> <p>例えばPTAの選び方ですが、だいたい選挙が多いと思いますが、私の学校は選挙ではないです。選考委員の方がいろいろ話をし、断られてはあっちこっちへ行ったりしながら、本当に動いてもらえる方を選んでいって最終的に総会で選出する。どちらかという昔のシステムかなと思ったけれど、今はPTAに言っているのは、こういうことはものすごく大事だと思いますということを言っています。それは役員を決める時だけではなく、例えばいろいろなPTAの行事があったとしたら、愛護部は朝の交通安全指導をやっ</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>E 委員</p> | <p>てくださっているのですが、プリント類も愛護部員の方が、地域の保護者の家に配ってまわられるのです。バザーにしてもそうです。学校に持ってくるのではなく、地域の方が回収にまわられたり。横のつながりを維持していく仕組みになっているのです。今の時代だから余計に価値がありますよと。</p> |
| <p>B 委員</p> | <p>絶対に新しいものより、古いものを見直すというのが必要なのです。インターネットより回覧板なのです。回覧板も昔ながらの汚い回覧板をまわしているところがあるのですね。もっと新しく、子どもに書いてもらってかわいらしいのを作ったら開くと思うのです。</p> |
| <p>議長</p> | <p>核心を、今、委員さんから言われたと思います。</p> <p>教育基本法が変わりました。それで社会教育関係の視点なども本を読んだり、この前、この会でいただいた文部科学省の考え方や法律もちょっと変わらして、丁度今言われた回覧板の話じゃないですが、地域の伝統や継承、しつけ、挨拶、最終的には基本は家庭教育、家庭になってくるとというのが、そもそもこのテーマを決める時のスタートで、大事なところでしてね。一番最初の挨拶の話が出ました。そして地域のつながり。</p> <p>今記録を見てみますと 議長の時に出した報告書でも、システム構築で地域、コミュニティー、地区団体を活かす。そのためには公民館、学校、児童館などを核とした取り組みをやってほしい。3つ目に地域をよくするコーディネーターの存在をいかに引き出していか、特に団塊の世代も含めて。そして情報発信の仕方ということで、この会で一昨年、報告させていただいているのです。同じ論議を行ったり来たりしているのです。</p> <p>事務局の方で、会議の焦点を絞っていく時に、提言を求められた方がいいのではないかと思うのです。行政サイドとして、我々がフウフウ言うぐらいに、強く求められた方がいいと個人的に思ってい</p> |

| | |
|-----|---|
| 議長 | <p>ます。振り返ってみたら、結論は3年間回っているのです。</p> |
| 事務局 | <p>ソフト面の議論が中心になると思うのですが、この間文教公企の議員さんの話し合いの場があったのです。その時にB委員がおっしゃったような公民館に関して、今非常に公民館活動が活発で場所が足りないぐらいの状況ですので、職員として公民館を各小学校区毎に作っていくぐらいの思いをもって、仕事に取り組むよう議員さんからご指摘をいただきました。今の財政状況を思うと当然そんなことは望めないことですが、我々のスタンスとしましてはスポーツ施設にしても、公民館にしても、できるだけ多く作って地域の方に利用していただくことが、生涯学習を進めるうえで非常に大切なことだという思いはあります。ハード面は切り口として難しいと思いますが、できたら社会教育委員さんの方からも、施設的な不備などの問題提起をいただいて、それを後押ししていくこともあるかなと思っています。</p> |
| B委員 | <p>教育委員会に提案するのだったら絶対に入れてほしいのは、やはり家庭なのです。一番大事なものは家庭だぞということを再認識しないと。そしてお母さんなのです、子どもを育てるのは、お母さんのお腹の中に10ヶ月いるのです。お母さんの心臓の音を聞いて、お母さんの胎盤からいろいろなものをもらって、お母さんの声を聞いてお腹の中に10ヶ月いて、突然ぱっと知らない世界に放り込まれるわけです。ものすごく不安なのです。不安な時にお母さんが抱いてくれたら、いつも聞いているお母さんの心臓の音、声で少しずつ3年かかって外に慣れていくのです。三つ子の魂百までというのは、3歳までの間、お母さんと社会との間をお母さんがコーディネートしていくという、子どもを育てるってことも大事なんだよ、再認識してくださいよと発信するということが大事なことだと思うのです。</p> <p>いろいろな場づくりをやっていきますよね。場づくりをやっていて</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>B 委員</p> | <p>戻る所がないと、さみしいし、癒されないのです。だからコンビニの所でたむろしたりするのです。母艦があったら夕方になると帰りたくなるのです。そういう、家庭って大事だぞということを発信していかないと。この時代にそんなのは理想だとおっしゃるのですが理想を知っている人はある程度年代から上なのです。今の若い人はそんなこと理想だと思っていないのです。理想ができるのにあえて働きに出る人もいるのです。本当は濃い家庭が作れる方でも、外へ行った方がいいような雰囲気を作っているのです。</p> |
| <p>議長</p> | <p>D 委員お願いします。</p> |
| <p>D 委員</p> | <p>本当に家庭だと思います。 昨年の9月ぐらいにもお話したことがあると思うのですが、公民館に核としての場所となってほしいと提案がされたのですが、今度市子連が居場所がなくなってしまいそうなのです。今までずっと情報センターの方でご配慮いただきまして、そこを活動の拠点ということでしたのですが、今度行く所がなくなりまして、今、荷物をプレハブに置かせていただいています。今までは公民館が拠点だったらいいのになというのを、ふわぁっと思っていたのですが、実際自分の行き場がなくなって、ここに行けば子ども会や、その地区のコミュニティーの情報は全部得られるとか、そういう地区の中の情報を網羅できている、核となる公民館であっていただければと本当に思っています。他の団体とのつながりが、年配となればなる程、パソコンでのやり取りというよりも、直にお話する方が、次のこの時に老人会で来ていただけませんかとか、子ども会で遊びに行かせていただきたいですとかお話ができるので、その核となる場所になっていただけたらいいだろうなと切実に思ってます。</p> |
| <p>議長</p> | <p>ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会の所管は地域教育で</p> |

審 議 経 過

No. 22

| | |
|-----|---|
| 副議長 | すか。 |
| D委員 | はい。 |
| 事務局 | 荷物はたくさんあったのですか。 |
| D委員 | たくさんありまして、ご配慮いただけて置かせていただいているのですが、それもいつまで置かせていただけるのか。 |
| 事務局 | 地域教育の所にスペースがありますので、そこへ持ってきてという話があったと思うのですが。 |
| D委員 | そうですか。それと、会議をする場所ですよ。 |
| 事務局 | 今度情報センターが向こうへ行きますので、ボランティアの拠点になりますけど、福祉の方でもそういうグループが非常に多くあって、拠点が無いというのが懸案事項だったのです。 |
| D委員 | 公民館もいろいろなカルチャーとかをなさっていますので、公民館の部屋も一杯というのはとてもわかるのですが、その情報を網羅する拠点に公民館がなっていたらなんと、北地区と離れて、中央公民館としての部分でなっていたらと思うのです。 |
| 議長 | 要望として出しましたが、活動すればする程、「場」、ソフト、ハード両方とも問題を抱えていらっしゃるのですね。 |
| 副議長 | 場というのは、活動する場、情報の場、いくら情報が掲示されていても本が置いてあってもその場だけではだめ。そこで動いて、会話が出来るということだと思います。会議もあちこち転々とすれ |

| | |
|-------------|---|
| <p>副議長</p> | <p>ば市子連さんもできる状況だと思いますが、その場所に行って情報を集約されたり、作業したり、出合って市子連の役員さんだけでなく、地区の子連の方が来られて会話ができたりする場所があるっていう、そこが大事だと思います。</p> |
| <p>議長</p> | <p>現実がどうなっているかという部分があるのかなと思います。公民館が昨年、一昨年と2年間提言、報告をさせていただいているのですが、運用次第では、コーディネーター役をやってほしいということは公民館も中心になってほしいとこちらとしても申しているところです。また、学校の空き教室、コミュニティー会館等の状況の発信をどうするかといった具体的な形の部分を再度確認、研究しておかなければならないと思います。</p> <p>今、最後に痛烈に言っていただきましたが、それは運用次第だと思います。私の実体験でも、場所がないと言われて、かつて勤めていた公民館で、この時間が空いていますのでここで総会をやってくださいというような形で、積極的にもっていこうと思ったりいけて、市民の方に喜んでいただけたと思いますので、そこは是非担当の方と話し合われて積極的にされたいと思います。</p> <p>この会としては、まとめていかなければならないかなと思っています。</p> |
| <p>D 委員</p> | <p>今副議長さんが言ってくくださったように、ご配慮はしていただいているのです。荷物も置く場所、印刷も大丈夫ですよと言っているのですが、他の団体との交流できる場ということでよろしくをお願いします。</p> |
| <p>議長</p> | <p>F 委員どうでしょうか。</p> |
| <p>F 委員</p> | <p>今議長が言われたとおり、ずっと同じ話がどんどん膨らんでいっ</p> |

| | |
|-------------|--|
| <p>F 委員</p> | <p>ていると思うのですが、いつまでにどうするのかというのがどうしてもないと進みにくい。いつまでに何をするかを決めないといけないというのが私の中にあります。あと3年でこういう形で地域で、今皆さんが言われているようなイメージのものを、作りましょうということからの逆算をしていかないと、進み方が難しいような気がします。</p> <p>それが議長が言われたとおり、市の方で提言みたいな形で出してもらえませんかというのもひとつだと思います。社会教育委員としてこんなことができるかどうかわかりませんが、地域を限定してそのところでテストケースができないかとか、そういったものを作っていかないと、非常にもやっとして、こうやりたいというのはだんだん固まっているのですが、方向性も中々決まらない気がします。その辺のところを、次回考えてやるのもいいかと思います。</p> |
| <p>議長</p> | <p>そうですね。F委員さんと同じことを考えていまして、事務局側から提言してもらえれば、こちら側が受身すぎるとか、待たなくてもこちらの方から自由に進めるとか、読めるのですが、いつもお会いしているわけではなく、月1回のミーティングですので、逆算してちょっと焦り気味になっています。是非この辺を参考にさせていただきまして、今後のことですが、事務局の方からいいアドバイスをいただけたらありがたいと思います。</p> <p>副議長からありました、児童館、総合センターなどいろいろありますが、そういう場の見学、お話を聞くというような場を設定していったらどうかというご意見をいただきましたが、これは議長、副議長の方に一任していただき、事務局とできるかできないかを含めまして相談させていただくということでいかがでしょうか。例えば、児童館、総合センター、図書館、情報センターは新しく場所が変わられたと聞きましたし、我々が違った角度から見させていただくこともできますし、具体的な形で次回には報告できるよう考えて</p> |

| | |
|-----------|--|
| <p>議長</p> | <p>いきたいと思います。</p> <p>具体的な話も出てきかかってはいますが、テーマが大きいの次は同じテーマですが、もう少しこちらの方も事前に絞りながら、同じことの繰り返しかもわかりませんが、具体的にまとめていく形に絞っていきたいなと思います。</p> <p>今日の議題として、これで終わらせていただきたいと思います。</p> |
|-----------|--|